# 携帯用膨脹式救命具(自動) マリンポーチライト 取扱説明書

**このマリンポーチライトは、いざという時にあなたの命を助ける大事なものです。**ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。なお、この説明書は大切に保管して下さい。

## 1. 安全に関する注意事項

この取扱説明書は、携帯用膨脹式救命具(自動)マリンポーチライト(以下マリンポーチライトという)を安全にお使いいただく為に、必ずお読み下さい。また、いつでも読めるように大切に保管して下さい。この取扱説明書で使われているマークは、次の状況を意味します。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険が生じることが想定される場合 |
| ⚠ 警告 | 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合 |
| ⚠ 注意 | 取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損のみの発生が想定される場合 |

⚠ 危険
- ・マリンポーチライトを炭酸ガスの膨脹にて使用した場合は、ボンベとスプールを新しいものと交換しなければ、再度使用できません。ガスのない状態のボンベと使用済みのスプールを交換せずにケース(ポシェット)に収納することは危険ですので、絶対にしないで下さい。
- ・自動膨脹装置からボンベを取りはずし、ボンベの封板に穴がないことを確認して下さい。穴があいている場合は、ガスがなくなっている為、使用できません。交換が必要です。
- ・自動膨脹装置からスプールを取り出し、透明オレンジケース内の紙センサーが破けていないか確認して下さい。破けていた場合は、使用できません。交換が必要です。
- ・マリンポーチライトをケース(ポシェット)に収納する際、折りたたんだ浮輪の上から、ケース(ポシェット)の上から、紐を巻きつけることは、絶対にしないで下さい。マリンポーチライトが、膨脹せず浮輪が破損し使用できなくなります。

⚠ 警告
- ・マリンポーチライトを使用する前に、浮輪の中にガス及び空気などが入っていないことを確認してからご使用下さい。作動したときマリンポーチライトの浮輪の内圧が過大になり、浮輪が破損する可能性があります。
- ・突起物や鋭利な物は、装着前に取り外して下さい。ブローチ、万年筆、ネクタイピン等で浮輪を傷つけ使用できなくなる恐れがあります。
- ・マリンポーチライトは、衣服の上から装着して下さい。上着または雨具の下に装着しますと、水の浸入が遅くなり、膨脹に時間がかかり、自動膨脹が作動しない恐れがあります。
- ・マリンポーチライトの取り扱い時は、火気厳禁です。火気を近づけてしまうと、マリンポーチライトに穴があき、使用できなくなります。

⚠ 注意
- ・マリンポーチライトは救命具ですので、その他の使い方はしないで下さい。
- ・マリンポーチライトを運搬・保管する際、マリンポーチライトに負荷のかかる方法は避けて下さい。
- ・保管場所は、高温多湿になる場所を避けて下さい。
- ・マリンポーチライト購入後、正常な機能を保つために、定期的な点検をお買い求めいただいた販売店に、ご依頼下さい。
- ・雨で使用した後は、十分乾燥させてから保管して下さい。
- ・膨脹させたマリンポーチライトと一緒に、水中へ飛び込まないで下さい。 やむをえず飛び込む場合は、両手でマリンポーチライトをしっかりと抱えて飛び込むようにして下さい。飛び込む高さは、3m以下です。

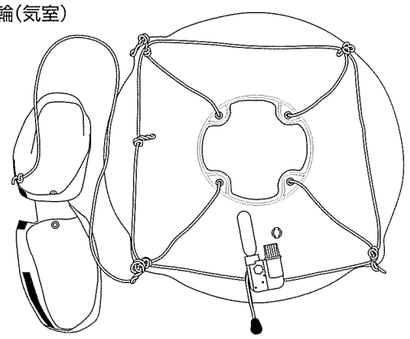
## 2. 概要

マリンポーチライトは、海中(水中)に転落した場合、水の作用により浮輪が自動的に膨脹し、手の届く範囲に浮き上がってきます。使用者が浮輪につかまって水面上で救助を待つものです。

- ・浮力は、約8.5kg(大きな大人を十分に浮かせる浮力があります)。
- ・自動または手動でも膨脹します。
- ・視認性の高いオレンジ色です。
- ・浮輪は、ポシェット(ケース)に収納されています。

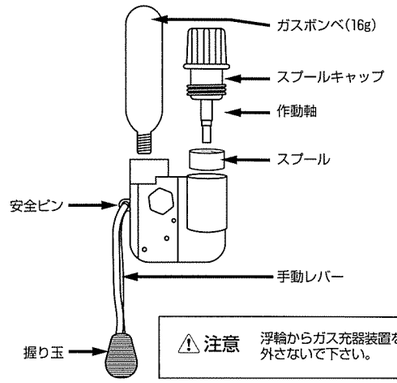
## 3. 構造

1) 浮輪(気室)



2) ガス充器装置

この装置は、炭酸ガスボンベ、膨脹の為のスプール、手動レバー及び撃針から構成されています。自動膨脹は、水没するとスプールが作動し、手動レバーに接触している撃針に動きをあたえ、ボンベの封板を破り、ガスを浮輪(気室)内へ充気させる構造になっています。




⚠ 注意 浮輪からガス充器装置を外さないで下さい。

3) 空気入れ・空気抜き弁

この弁は、気室の膨らみが十分でない時に、浮輪(気室)に空気を補給、また空気を排気する弁です。空気を入れる時、空気を抜く時以外は、必ずキャップをしっかりと締めて下さい。

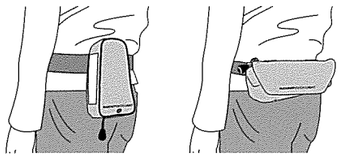
4) ケース(ポシェット)

浮輪(気室)を収納するケース(ポシェット)の蓋は、マジックファスナーで止めてあり、ケース(ポシェット)内の浮輪が膨脹すると、蓋が開き浮輪が飛び出します。飛び出した浮輪は、手の届く範囲に浮き上がるようにロープで浮輪と連結してあります。ケース(ポシェット)のベルトは、作動した時に身体から離れないように、しっかりと締めて下さい。

## 4. 使用方法

●装着方法

衣服の上から、動作の邪魔にならない位置にマリンポーチライトを装着して下さい。装着の際は、ケース裏側にあるベルト通しにベルトを通して装着して下さい。
ベルト付きの場合は、バックルをセットし、ベルトを調整して下さい。



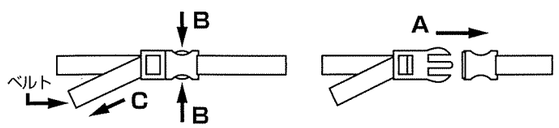
⚠ 注意
マリンポーチライトを破る恐れがあるものは、事前に外して下さい。

●バックルのセットとベルトの調整

①バックルは、矢印の方向に差し込むと止めることができます。外す場合は、矢印(B)を強く押すと左右に離れます。

②セットしたバックル(A)についてベルトの端部を(C)の方向に引張り、身体に密着するように調整して下さい。

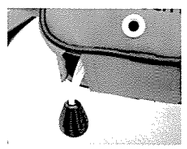
③ベルトの先は、垂れ下がらないように巻き込んで下さい。

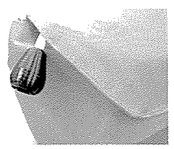



●作動方法

①自動膨脹
マリンポーチライトは、水中に飛び込むと、自動膨脹装置が水の作用により作動しガスが浮輪(気室)内に充気され膨脹します。

②手動膨脹
ポシェット(ケース)から出ている手動レバーを手で引くと、ガス充器装置が作動し、膨脹します。





## 5. 自主点検 [安全を守るために、必ず実施して下さい]

●装着前

スプール未使用

①ケース(ポシェット)の中に浮輪(気室)が入っていること。
②ケース(ポシェット)に傷やほつれがないこと。
③ベルトに傷がないこと。
④バックル、連結紐が破損していたり、切れていないこと。
⑤浮輪(気室)が膨らんでポシェット(ケース)からはみ出していないこと。
⑥ガスボンベの封板に穴があいていないこと。
⑦スプールキャップを確認し、スプールが使用済みでないこと。

●装着後

①ポシェット(ケース)に傷やほつれがないこと。
②ポシェットに汚れや塩がついている場合は、浮輪(気室)を取り出し、浮輪(気室)に絶対水をかけないように真水で洗い流し、陰干しして下さい。
③保管は、常温の状態でマリンポーチライトの上に物をのせないで保管して下さい。

●作動膨脹後の処理

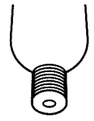
マリンポーチライトを再使用するためには、よく乾かした後、新しいガスボンベとスプールを交換して下さい。またはお買い求め販売店に点検、及び部品の交換を依頼して下さい。

## 6. 保守点検

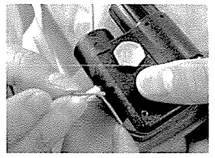
マリンポーチライトは、いつも完全な機能を果たすため、定期的な点検(有償)を年1回、販売店を通じてメーカーで実施して下さい。

## 7. スプール・ガスボンベの交換方法 ※十分乾かしてから作業して下さい。

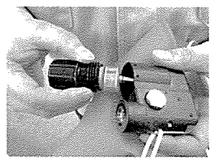
①使用済みボンベを外してください。

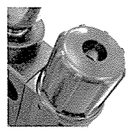

使用済み

②手動レバーを戻して新しい安全ピンをさします。

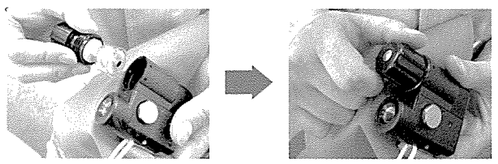


③スプールの交換 (3年を目処に交換して下さい。)スプールが使用済みの場合は、ガス充気装置のスプールキャップの金属部が凹んでいます。キャップを左に回し、その中の使用済みスプールを取り出します。

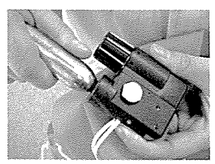


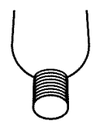

スプール使用済み

④新しいスプール(上下どちらでも可能。)を入れかえ、スプールキャップをしっかり締めて下さい



⑤ボンベの交換
使用済みガスボンベは、ネジの先端部の封板に穴が開いているのでその場合は、新しいガスボンベと交換して下さい。
使用済みガスボンベを左に回してはずし、新しいものと交換して下さい。ボンベはネジの噛み合わせに十分気をつけて、しっかりねじ込んで下さい。

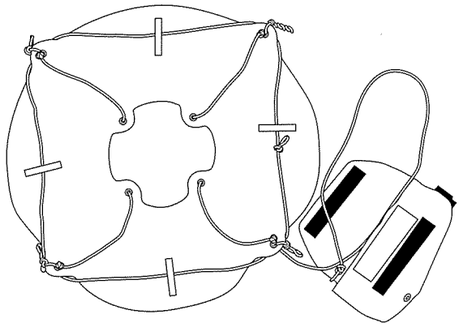



未使用

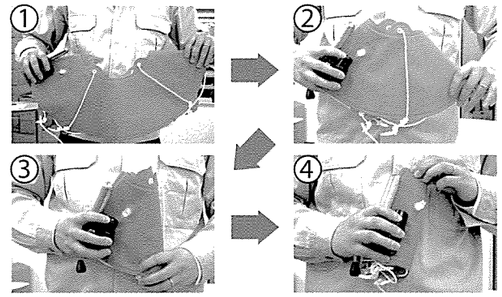
※ガスボンベは、自動膨脹させると炭酸ガスがなくなり再利用できません

## 8. 浮輪(気室)のたたみ方・収納のしかた

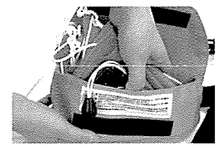
①ケース(ポシェット)と浮輪の連結紐が結んであることをご確認下さい。
②裏返しにして、つかみ綱を図のようにセロテープで止めて下さい。

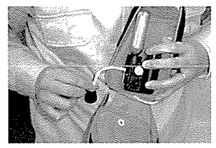


③自動ガス充気装置を表面にして、4回折って三角の形に畳んで下さい。




④下図のように収納します。膨脹時に浮輪(気室)にロープが絡まないように、手動レバーをケースから出し、連結紐をケース(ポシェット)の中に収納し蓋をして下さい。





※念のため、ご購入時に蓋をあけて収納のしかたを見ておいてください

## 9. 交換の目安

⚠ 注意 マリンポーチライトに下記のような状態が発生した場合は、ご使用にならずにすぐ取り替えて下さい。

①浮輪(気室)が破損したとき。
②連結紐、つかみ綱が切れたり、ほつれたりしたとき。
③浮輪(気室)の表面が変色しているとき。
④ポシェット(ケース)が破れていたり、ほつれがあったとき。
⑤空気弁が破損しているとき。
⑥ベルトが破損しているとき。

## 10. 保管方法

⚠ 注意 マリンポーチライトを安全にご使用いただくために、次のような所や条件での保管は絶対しないで下さい

①直射日光の当たるところ
②ストーブの近く
③高温のところ
④雨漏り、多湿のところ
⑤蒸気のあたるところ
⑥他の物の下積み
⑦ネズミのいるところ

⚠ 注意 保管時に関らず、下記のような条件でのマリンポーチライトの取り扱いは絶対にしないで下さい。

①溶剤(ガソリン・シンナー等)で拭くことはしないで下さい。
②洗濯機での丸洗い、モミ洗いはしないで下さい。
③アイロンがけ、ストーブ等、直接火気の近くで乾燥することはしないで下さい。


製造元／アール・エフ・ディー・ジャパン株式会社
〒231-0801 神奈川県横浜市中区新山下3-7-24
TEL.045-629-0055 FAX.045-629-0057
URL http://www.rfd.co.jp